

フロム あらかわ



荒川砂防出張所からのお便りです。

No. 9



平成19年3月28日（水）荒川遊砂地大暗渠砂防えん堤の竣工式が行われました。



荒川遊砂地大暗渠砂防えん堤に防護柵を設置。



テープカット！



いろはもみじ3本を
記念植樹しました！



出席者で渡り初め（^^）



㊦

今後計画している砂防施設は次のとおりです。

㊦

事業
荒川遊砂地第3床固工
塩の川第6砂防えん堤
須川第2砂防えん堤

期間
(平成19年3月～9月)
(平成19年度着工予定)
(平成19年度着工予定)

荒川遊砂地第3床固工事



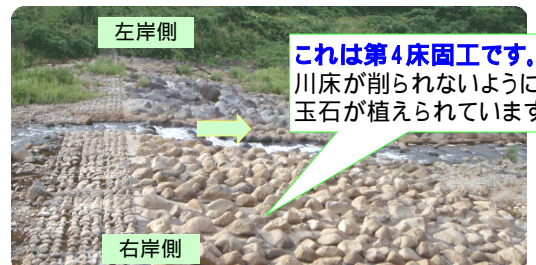
今年度は左岸側
87.5mを施工します

荒川遊砂地の第3床固工は大暗渠砂防えん堤の350m上流に整備される堤長185mのコンクリート構造物です。
平成18年度に右岸側78mを施工しました。
完成は平成20年度を予定しています。



【床固工事の目的】

急な流れを緩やかにし、流れによって河床が削れないようにすると共に、水の流れを一定にさせることを目的としてつくられます。

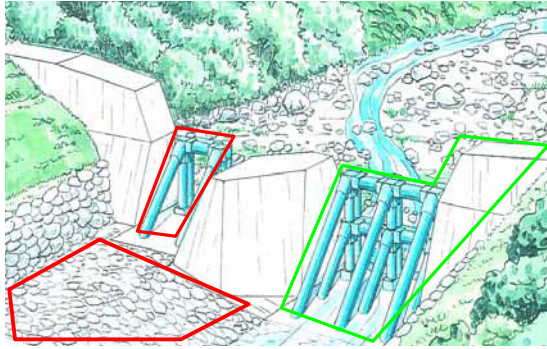


左岸側

右岸側

これは第4床固工です。
川床が削られないように
玉石が植えられています。

塩の川第6砂防堰堤工事



は今年3月に完成しており、今年度は**赤い枠**の箇所を工事する予定です。なお、**緑の枠**の箇所は平成20年度施工予定となっています。

完成イメージ図

の完成写真です。スリットを設けた透過型のえん堤になります。

荒川砂防えん堤探険記



探険記

その4

地蔵原えん堤



地蔵原えん堤は、大量に流出する荒川下流部の土砂災害を防ぐために、大正13年につくられました。完成後、幾度かの修復を重ね、現在の姿となり、今日に至っています。農業用の取水口を設ける等、当時としては色々な工夫が盛り込まれました。先人の治水への想い、そして知恵を感じさせる歴史的な構造物として今も流域に住む方々の生命や財産を守っています。



堰堤本体と取水口



建設当時の工事風景
(大正～昭和初期)

転入者紹介

ARAKAWA SABO出張所7ヵ所集2



官職
技術係長
名前
佐藤 健一
出身地
宮城県仙台市
前任地
新庄河川事務所
立谷沢川砂防
出張所

みなさまへ

4月より技術係長で就任しました佐藤です。福島に勤務するのは二度目ですが、荒川流域に携わるのは初めてです。よろしくお願い致します。



国道115号沿いの桜並木です。

前任の菊地技術係長は郡山国道事務所郡山維持出張所に異動になりました！2年間お世話になりました

〒960-2156

福島県福島市荒井字地蔵原甲2-14

国土交通省 福島県河川国道事務所 荒川砂防出張所

024-(593)-0831(直通)

福島河川国道事務所HP <http://www.fks-wo.thr.mlit.go.jp/>

ご意見、ご感想、砂防に関する問い合わせ等がございましたら、ぜひお寄せ下さい。